



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No. 187

2020年3月8日
九州支部長 T.M.

コロナウイルスの感染者が日ごとに増え、毎日不安な気持ちでお過ごしのことと思います。私の住んでいる小さな町水巻町でも今月からいろいろな催し物が中止になってきています。又西日本では最近「コロナウイルスは26-27度で死滅するとか、お湯をたくさん飲むように、これを大事な方に教えてあげてくださいなど」というチェーンメール（昔でいう不幸の手紙）でデマが拡散しています。買い物で人ごみが出るのもちょっとためられますが外出から帰ったらまず手洗い、うがいを小まめにしながら乗り切っていきたいものです。どうぞ皆さまもお体には十分気をつけお過ごしください。

昨年11月29日から12月10日までドイツサーバスからのお誘いで日本サーバスから10名がドイツを訪問しました。（九州支部からは3名参加）その時の様子を4.サーバス旅行レポートに載せていますのでぜひご覧ください。

サーバス九州支部会報 187号（2020年3月号）をお届けします。
掲載している内容は以下の通りです。

1. 支部総会延期のお知らせ
2. 今年度会費納入の再度お願い
3. サーバス旅行レポート
4. 支部会員情報
5. 支部からのお願いと支部連絡先(常掲)

1. 支部総会延期のお知らせ

4月18日（土）博多の「あいろん」にて支部総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が止まず各県の代表者にも相談しました結果、この状況下での開催は見送った方がいいと判断いたしました。次期をいつにするか、秋例会と兼ねてする等も含め、皆様の意見をお聞きしながら決めたいと思います。決まり次第連絡致します。どうぞご理解ください。

2. 今年度会費納入の再度お願い

サーバスの会計年度は1月から12月までです。会費は前納制です。
今年度会費3,000円は1月31日が納入期限になっていました。まだ納められていない方は、早急にお納め頂くようお願い致します。

なお、口座番号、名称などについては日本サーバス Web ページの会員専用の九州支部会報をご参照ください。

3. サーバス旅行レポート

日独サーバス交流の旅

日本サーバスの5支部から10名がドイツの4都市、ルール地方、ライプチヒ、ハンブルク、フランクフルトを訪れそれぞれの家庭でサーバスステイをしました。

日独交流ツアーに参加した3人のレポートを紹介します。

<1> ドイツメンバーとの思い出の日々

福岡県 T. M.

(1) ルール地方 エッセン 11月30日～12月2日 1人でステイ

ホスト CさんとSさん定年退職したご夫婦。静かな住宅街にお住まいです。着いた日の夕方に Mulheim に私たち全員、ホスト、関係者が集まり一緒にクリスマスマーケットを楽しみ、夜のパーティでは九州支部の活動について話しました。次の日はホストと近くの森を散策したり、教会の日曜礼拝に連れて行ってもらい、全く分からないドイツ語のお説教を音楽を聴くように聞いていました。その間何度もコーラスが入り、両脇のご夫婦に合わせて歌い、もともと歌が好きなのでとても楽しかったです。



一人娘の Aさんはボンで都市計画の勉強をされていて里帰り中で、笑顔の素敵なお嬢さんです。

家族皆と近場でのクリスマスマーケットに行き、ご夫婦は行った先々でいろいろな方と立ち話、ご近所の方との関係が密だなどと思いました。家や庭にはアフリカの置物や飾りがいっぱい、昔3年間ジンバブエに住んでいた事があるそうです。原発の話や、環境問題、Brexitの話には精いっぱい付いていきましたが、まだまだ英語や知識の不足を思い知らされました。この日は寒く翌朝は車全体が凍っていました。

(2) ハンブルグ 12月4日～12月7日 1人でステイ

ホスト Mさん、Hさんご夫妻。退職前はMさんは高校のスペイン語と地理の先生。Hさんはスペイン語と歴史の先生。この方たちも本当にいい方でした。私のしたい事を少しでも叶えてあげようといろいろしてくださ



いました。私が買いたい花や野菜の種があるかどうか電話で問い合わせさせて下さり、トルコ人用のスーパーや、アフガニスタンのパン屋さん、古着屋さんなどに連れて行ってくださいました。台所の前が大きな共同の庭でリスが何匹か可愛らしく枝から枝に飛び移る姿はとてもいい光景でした。

家の近く(Winterhude)を歩いていると、石畳の中に何かが書いてある四角い金属プレートを所々目にしました。それは「つまづき石」

と言われ、芸術家の1人がナチス時代の記録を元に、強制収容所に連れて行かれた人々の名前をプレートに移し、その人が住んでいた家の前の道に埋め込んだものです。刻まれている名前はユダヤ人だけでなく、同性愛者や反ナチス的な意見を持った人も含まれているそうです。過去を振りかえさせるつまづき石です。

2日目はHさんが94歳のお母さんの介護を担当する日で、朝早く妹さん宅に出かけました。Hさんの祖母が中国人なので、ご自分は25%が中国人で中国名を持っているそうです。お母さんの足を洗ってあげたり、お話し相手になったりと親孝行な息子さんです。お母さんが時折、「あれが無くなった。これが無くなった」と言って周りを困らせるそうです。こういう話って万国共通ですね。

住んでいるマンションにはいろんな世帯の人がいて、病気の一人暮らしの人には差し入れをしたり、子供さんが老人世帯に遊びに行ったり、長期間留守のお宅のカギを預かったり、年に何回か一緒にお食事をしたりと、ご近所とのふれ合いがあるそうで羨ましい気もしました。ご夫婦ともサーバスのお陰で世界が広がったと言われていました。

(3) フランクフルト 12月7日～12月9日 T. F. (福岡県)と二人でステイ



Mさん Rさん 40代後半のご夫妻。子どもさんは3人(15歳の男の子と13歳、11歳の女の子)。家はオープンで男の子の友達が2人遊びに来ていて、それにサーバスジュニアでフランスの13歳の女の子もいて最初の日の夕食は何と10人でテーブルを囲みました。ご夫妻が出かけている間、子供たちと私たちがその日の夕食のクレープを焼きました。クレープの上に玉子とチーズをのせ折りたたんで保温します。玉子が程良く半熟になり美味しかったです。後はクレープに好きなチーズやハムや野菜をのせ自分流に作りま

す。

2日目の夕食は私たちが食材を調達し、手巻き寿司と焼きそばを作ることにしました。寿司用のお米や海苔も手に入り、皆で協力し美味しい夕食が出来上がりました。

嬉しかったのは、男の子たちが(この日はまた別の友達)「美味しい」「レストランより美味しい」と言っただけで食べてくれた事です。家の前には広い空間が広がり、庭にはにわとりやウサギを飼っているのんびりした私の憧れの暮らしです。

どのご家庭でもグリューワイン(温かいワイン)をご馳走になり、またクリスマスマーケットでも飲んだりしました。温まり美味しいので、今度買ってみたいと思います。

ドイツ訪問のプロジェクトはドイツ、日本両方にとっても大きなプロジェクトだったと思います。ドイツのC会長と、Oさんには大変お世話になりました。長い期間に亘って計画され、受け入れ先を探し、各地での案内、食事などいろいろ気を配っていただきました。最後の日にはDさん宅でのクッキー作り。美味しい高級なクッキーをいっぱいお土産として持たせて下さいました。

お会いしたドイツ、日本のすべての方々本当に本当にお世話になりました。1人1人の顔を思い出すとなんだか胸が熱くなります。充実した思い出いっぱいの旅でした。

< 2 > 初めてのサーバス旅行、忘れられない出会い

福岡県 T. F.

(1) ルール地方のボーfum:Mさん

サーバス会員になって2年目、初めての旅行です。一人でボーfumという、ルール地方のホスト宅に二泊しました。凍えるような寒さの中でホストのMさんに会いました。背の高い方でした。メールの印象とは違う方で、人の想像力ってあてにならないなと思いました。クリスマスマーケットをのぞきながら、20分歩いて家に到着しました。途中、町の事、ルール地方の事などを話してくれました。失業率10パーセント、ドイツ全体では5パーセントで、昔地理で習った時の内容とは数十年たつて変化しています。私の住む町も昔は炭鉱があって、同じような地域のように親近感がありました。行く前から興味があったので、いろいろ聞きました。

家は集合住宅で、2階が住居、パートナーのUさんがスーツケースを運びに来てくれました。とてもいい感じのカップルです。

最初とても緊張していましたが、だんだん細やかな心遣いでもてなしていただき、少しずつなじんできました。温かい料理が準備しており、説明を聞きながらいただきました。どの部屋もとてもセンスが良く、クリスマスにちなんだ飾りつけが素敵でした。

初めて英語漬けの生活で、必死になって話をしました。日常の生活に関してはもちろん、政治や地方の産業など、Uさんが発電所勤務だったこともあり、エネルギーの話など盛りだくさんでした。ドイツの人たちは話し好き、コミュニケーションを楽しんでいるという印象が強かったです。

Mさんは非常に思い遣りのある人で、言葉の端々から人柄の良さがにじみ出てきます。二人はとても相手を大切に、協力して生活していると思いました。彼女のところに滞在出来てラッキーでした。また、季節のいい時にハイキングにいらっしやいと言っていただき、本当に機会を作ってまた行きたいと切に思いました。



(2) ライプチヒのCさん・Hさん夫妻と息子のAさん

列車を乗り継ぎ、ライプチヒに到着しました。4時頃でしたが、外は暗く寒かったです。駅の中でホストの方たちと顔合わせをし、クリスマスマーケットを見て、屋台で食べ物を買って三々五々ホストと歩くという算段でした。マーケットは人が多く迷子になりそうだから、フィンランドテントの焚火を囲んで、グリューワインをご馳走になりました。

トラムに乗って早々に家に引き揚げ、居間でまたグリューワインとCさんお手製のクッキーをいただきながら、Aも加わり話をしました。クリスマスの飾りやアドヴェントカレンダー、ろうそくなど、クリスマスは大事な行事のようで、その説明や家族がやっていること、その他いろんな話をしました。Cの英語は素晴らしく、そしてとても早口でした。家族全員英語でどんどん話すのですが、Cが一番でした。家族の中心にお母さんがいるといった感じでした。2日目の晩も、今度はビール



を飲みながら話をしました。Hは裁判官で、担当をする案件を決めるのに選挙があったとか。民主的な組織なのだなと思いました。

家に入るときに会った隣人は、東ドイツ出身で、兵役拒否をしたり、自由を求める運動をしたり、彼についてのエピソードを聞いて旧東ドイツに来ているんだと自覚しました。とても興味深かったです。

気取らないおもてなしで、洗面所もタオルも自由に使っていいし、洗濯機も使っていいよと言われ、また、何時でも困ったことがあったら言ってくださいと言われました。おおらかだなと思いました。

朝ごはんは、かごに山盛りのパン！おいしそうなのがてんこ盛りで、ジャムは自家製、あとはソーセージ、パテ、チーズなどなど。朝は料理しないとされましたが、素晴らしい朝食でした。お昼にサンドイッチを作った行ったらと促され、遠慮なく2日とも作って行きました。

音楽で有名なライブチヒにただの観光目的ではなく、一般のお宅に滞在して、また、地域の人々が仲良く暮らすために人々がいろいろ努力しているという話は初耳で、今、個々がばらばらになっている日本のことを思いました。

(3) ハンブルクのKさんとPさん夫妻



ドムトア駅で降り、ホストのKと会いました。今回は一人で滞在です。バスの運転手さんから券を買って乗車。この国では、バスや鉄道、トラムなど近距離は改札も車掌もないけれど、みんな不正をしないようです。

Kたちの家は、やはり集合住宅の2階。ドイツ滞在3軒目ですが、どこも必ず玄関で靴を脱ぎ、部屋履きに履き替えます。コート、マフラーは玄関のコート掛けにかけて部屋に入ります、このお宅はあまり飾りはなく、クリスマスのろうそくだけでした。娘は28歳で近所にボーイフレンドと住んで、キャリアアップの勉強と仕事とを両立しているそうです。

どうしてクリスマスマーケットなんかに来たの？コマーシャルイズムそのものでしょう？と何度も聞かれました。それにこんなに寒い時にとも。寒さが耐えられないそうです。確かにどこのお店も同じようなものばかりです。

夫のPはジャーナリストでもう引退しています。Kは障害児の教育にかかわっていて、今はパートタイムで働いています。二人はベジタリアンで、Pがとてもおいしい料理を作ってくれます。朝はたっぷりのミューズリーとたっぷりの果物でした。平均的ドイツ人の朝食なんてものはないのだと思いました。どのくらい前からベジタリアンなのか聞くと、2日にわたっていろんな経緯を話してくれました。まずは、若い時にアルゼンチンを旅行して3食牛肉だったこと、ここから南米冒険旅行の話で食の話は冒険談に代わりました。

Kも20代でシベリア経由して日本に入り、韓国、台湾、香港、フィリピンを2年くらいかけて旅行しています。フィリピンでは仕事もしていたらしいです。

3泊目の夜、食物偽装やいろいろな問題が次から次へと発覚してもう肉は食べないことにしたと言っていました。3日滞在したのでたくさんのお話ができて、面白い話がたくさん聞けました。Kは週一でピアノのレッスンを受け、今はベートーベンを弾いています。またPとダンスクラブに所属していて、週一でダンスに行き、心豊かな生活送っているようでした。Pは家事が得意で、助け合って生活している様子がよくわかり、本当にほほえましく思いました。

< 3 > 40年ぶりの再会

長崎県 O. T.

クリスマスマーケットシーズンにドイツを訪問し、現地のサーバスメンバーと日独交流を行うという企画への招待メールがドイツサーバス会長から届き、みなさんと一緒に参加しました。その内容や参加者の報告等は日本サーバス本部会報に特集させていただいていますので、そちらをご覧ください。ここではOの個人的体験を報告させていただきます。

ドイツの北の方、ハンブルクを訪ねた時のことです。同行のTさんとおしゃべりをしました。

Tさん：「私のホストのKは若い頃シベリア鉄道で日本に来て、日本サーバス初代会長のAさんのところに泊まってからあちこちを旅行されたらしいですよ。すごいですね。」

O：「サーバス草創の頃はトラベラーはまず、A会長の家に泊まってオリエンテーションを受け、それから日本各地を旅行するようになっていたらしいからねー」

翌日、

Tさん：「KはOさんのところにも泊まったって言っていましたよ。旅日記をみせてもらったら、T.O.、子どもは女の子と男の子二人って書いてありました」

O：「えー？ 私の名前も子どももその通りだけど、Kって名前に覚えがないな。Kaさんだったら覚えているけど」

次の日、

O：Kに「もしかして、Kaさんじゃないですか？」

K：「そう、そう」と破顔。

O：「覚えてますよー！東ドイツにおばあさんがいらしたでしょう？」

K：「そうよ！」

お互いに声をあげてハグ。40年ぶりの再会でした。

「あのころ、私はKと言う名前がいやだったので、違うように言っていたの」とK。

Kaさんは東西ドイツ時代の西ドイツからのトラベラーで、若い女性の一人旅でした。私は現職中だったので、ほとんどおもてなしはできなかったのですがKaさんの記録によると送り迎えはやったようです。車の中で東西ドイツのことも話題になりました。彼女は東ドイツに住んでいるおばあちゃんのところによく行くという自分の経験を通して、東ドイツの質素で落ち着いた雰囲気が好き、と東ドイツに好意的な話をしていたのがとても印象に残っていました。

それから10年後1990年東西ベルリンを訪問したときに、私もそれを実感しました。当時、西ベルリンは物が豊富でゴミと看板があふれていて雰囲気的にアメリカ合衆国に似ているなーと感じました。それに対して東ベルリンの質素さと静かさが対照的でした。これがKaさんが言っていたことなのかなーと思った記憶があります。

余談になりますが、昨年2019年の11月、ベルリンの壁崩壊から30年後、短期間でしたがベルリンを訪問しました。30周年ということでいろいろなイベントが企画されていました。街を

歩くとあちこちに東西ドイツの記念のモニュメントやレリーフ等が目に入りました。ベルリンの壁の一部はイーストサイドギャラリーという屋外展示場になっていて世界中のアーティストたちの「壁画」が1キロメートル以上にわたって観賞でき、ベルリンの人気スポットの一つです。

今回のドイツサーバス訪問でもベルリンの壁崩壊のきっかけとなったライプチヒのニコライ教会を訪問しました。ぜひ、行ってみたいと思っていたところの一つでしたので感慨深いものがありました。当時、人々が求めていたものは何だったのか、人間が人間らしい生活を営む上で大切な物は何かーなど、いろいろなことを考えさせてくれた2019年のドイツ訪問でした。

レストランでの昼食時にKは持参した日記と写真を見せてくれました。几帳面な字でびっしり書かれていた旅行記には鳥栖のNさんのお宅や長崎のIさんのお宅も訪問したことが記されていました。若い頃のNさんやIさんご夫妻の写真も拝見しました。

長くやっているとこういうこともあるのだ、と感激。Kとは、ぜひ、また会いましょう！と約束して別れました。いつか約束を果たしたいなーと思っています。

4.支部会員情報

新入会員：長崎県 D.M.さん 鹿児島県 M.Y.さん
福岡県 S.M.さん

支部会員数：45家族 福岡県 13名：佐賀県 5名：長崎県 8名：熊本県 3名
大分県 11名：宮崎県 2名：鹿児島県 2名：沖縄県 1名

5.支部からのお願いと支部連絡先(常掲)

(1) 2021年度から LOI (Letter of Introduction) の申請の仕方が変わります

2020年末までは今まで通りに支部長が LOI に紙スタンプを貼り、サイン、有効期間などを記入しますが、2021年からはそれらがすべて SOL(サーバスオンライン)の中でできるようになります。そのための手引、情報などはこれから徐々にお伝えしていきますのでその心づもりをしていただくようお願いします。

(2) レポートについて

サーバス旅行や、トラベラーの受け入れをされた場合はその時の写真やレポート(簡単なコメントでも結構です)をお送りくださるようお願いします。会報に掲載させていただきます。

(3) トラベラー受け入れ報告

トラベラーを受け入れた場合はその都度日本サーバスのホームページ上の「トラベラー受け入れ報告」より入力ご報告ください。入力報告の内容は自動的にメールでご自分の元に届きます。皆さまのご協力により、去年報告をされた方はほぼ全員ホームページ上での報告でした。今後ともよろしくお願い致します。

(4) 支部連絡先 (常掲)

発行日：2020年 3月 8日 (187号)

発行者:サーバス九州支部長

T. Y

【会費、認定料等の送金は以下にお願いします】

- 郵便口座をお持ちでしたらその口座からサーバス九州事務局の郵便口座へは送金手数料無料で振り込みできます。
- 銀行から振り込む場合 送金手数料は有料です。

なお、口座番号、名称などについては日本サーバス Web ページの会員専用の九州支部会報をご参照ください。

◎ 会計担当：H.S